

団体名	所在地	事業名	事業概要	活動対象地域
特定非営利活動法人Wing-Wing	福岡県	言葉のチカラ教室オンライン	言葉のチカラ教室は「書くこと」「話すこと」をプロから学び、書くこと話すことが好きになる教室です。自身で調べた事を言葉にして共有する「ビプリオバトル」や「地域情報を記事にすること」を目標として、本や取材対象を自分たちで 選び→下調べ→言葉でまとめ→発表執筆 することで言葉を通じて自発的な心を育む教室です。現在対面でおこなっている教室をオンラインで開催します。機会を失われている子どもたちに「主体的・対話的」な学びの場をつくることで、明るく前向きに「生きる力」を育みます。また、取材を通じて地域社会と子ども達を繋ぐ役割を担いたいと考えています。個別のフォローはLINEワークスを活用します。	福岡県
NPO法人 SFD21JAPAN	福岡県	福岡市および福岡市近郊の孤立した子どもの個別学習支援 副題：SNSによる学習支援をキッカケに孤立した子どもを社会とつなぐ	孤立した子どもにSNSを使った学習支援をきっかけに社会とのつながりを作る。学習について相談したいことを相談したいタイミングでLINEを使って相談でき、講師ボランティアスタッフが温かいメッセージを交えて学習に寄り添う。また、助成終了後に各エリアの子ども支援団体が継続的に使えるシステムにする。さらに当団体がアウトリーチ支援として実施している公開アームレスリング体験会は、関わり易い場所として子ども・若者支援に実績をあげてきた。そのノウハウを活かし、次の支援段階につながる場面としてSNSでの学習体験が気軽にできる教室としての役割と拡充する。同様に連携団体の活動拠点においても教室を開設する。	福岡県福岡市
こどもサポートおおいた	大分県	オンライン無料学習支援教室「たけのこ」	竹田市内5カ所にオンライン無料学習支援教室「たけのこ」を設置する。貧困対策などが目的だが、子どもを区別せず、学ぶ意欲を参加資格とする。WEB会議システムを活用した個別指導で、子どもたちは公民館などに訪れる。講師は大学生や社会人などのボランティア。教材は生徒が所有する教科書やワークを活用する。同時にメッセージアプリ「ライン」を活用した学習支援ツール「たけのこonline」も開設。外出が難しい環境でもアプリを活用して分からないところをいつでも聞ける環境を構築する。ボランティア講師が質問に対応する。時間は平日午後5時から9時を想定する。いずれも周辺市町への展開したい。	大分県竹田市
特定非営利活動法人子どもパートナーズHUGっこ	福岡県	こがっこつながるオンライン学習支援事業	長引くコロナ禍により生きづらさを抱える子ども達も増加の一途だがこれらの課題は家庭や個人ではなく、社会課題であり、解決の一つの手法として、当団体の子どもの居場所、市内児童館等を利用して、オンライン及びSNSでの学習支援、食品支援を実施する。不登校傾向にある子ども達には学習の置きや遅れが顕著であり、学童保育や塾を辞めざるを無くなったり、対面コミュニケーションに拒否的な子どももいる。対象の子ども達に第三者がオンラインやSNSを通して関わり、学ぶ機会を提供することにより、学習や進学への意欲、レジリンスを育むことが可能となる。また事業実施前後に「子どものQOL尺度調査」を実施しその成果を明らかにする。	福岡県古賀市
NPO法人しげまさ子ども食堂一げんき広場ー	大分県	しげまさ子ども食堂オンライン学習支援強化事業	豊後大野市内のひとり親家庭(約270世帯)や困窮家庭及び、コロナ禍で学習の遅れを塾などで補うことができない子どもを対象に、安全、かつ安心して参加できるオンライン学習支援の仕組みを作り、自治体との連携を目指す。	大分県竹田市豊後大野市
Children First FUKUOKA	福岡県	筑豊地域における子ども支援プラットフォーム構築事業 副題：～子どもの命と育ちと笑顔を守るために～	筑豊地区は、県内他地区と比較して小児人口比の児童虐待の相談件数は格段に多い。児童虐待の一因は経済的困窮と言われるが、平均所得・生活保護率を見ると、筑豊地区が他地域と比較し厳しい状況にあるのは明らかであり、虐待の連鎖が起きやすい環境にあると言える。そこで、地域の公民館等を拠点として活用し、経済的に厳しい家庭や保護者の養育能力に課題がある家庭などの子どもへの支援活動を展開するとともに、児童虐待の予防と早期発見に繋げる。提供する事業は、「多機能型子ども食堂事業」とし、拠点で子どもたちに学習機会と食事等を提供することにより、学力向上による将来的な所得の向上を目指す。	福岡県筑豊地域
NPO法人ネットワークぶらす北九州	福岡県	北九州・京築地区における対面学習及びSNS学習支援の普及事業	福祉施設を利用し、個人対面は相談室、タブレット対面は作業室を使い、対面学習を年間30回、通信指導を年間9000回を目標に取り組み、改善点などを図りながら、拠点増加を弊法人だけでなく、他法人にも繋げるよう取り組んでいきたいと考えております。また、この取り組みの中で、成果を上げられたことに関しては、ホームページやFacebookを通して広報したいと考えております。	福岡県北九州市、京築地域
一般社団法人ひとり親家庭福祉会ながさき	長崎県	「わからない」から「わかった」に変わる子どもオンライン学習室 副題：「学」「食」「相談」総合支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響でLINEでつながっている800世帯のひとり親家庭生活困窮世帯から「塾を辞めないといけない」「学校の勉強がわからない」「不登校気味になり高校に進学できるか不安」等の声が沢山上がっている。今後、今以上に在宅学習が進むと勉強がさらに遅れ誰にも聞けないまま、勉強が嫌いになる現状が浮き彫りになった。現在、本会では対面式学習支援とオンライン支援をおこなっているが限られた地域であるため、「マナビバ」を活用したオンライン専門の学習支援を支援強化として県域で行い、地域スタッフを育て継続的な支援体制を構築する。また、本会の「つなぐBANK」と連携し、食料・学用品支援や相談支援を行う	長崎県内
特定非営利活動法人フリースクールクレイン・ハーバー	長崎県	経済的困窮世帯対象の無料オンライン学習支援事業	経済的困窮家庭の子どもが学習の機会や意欲を家庭の事情によって奪われることがないよう、ITを活用した無料学習支援を実施。新型コロナ感染予防のため少人数教室でオンライン教材を活用した自習塾形式で行うが、質問対応する担当スタッフも配置する。担当スタッフは、学習面や進路面に対する相談も受け子どもの不安の軽減にも努める。新型コロナ感染症における行動制限が実施された場合は在宅での学習も可能とする準備も整えておく。また継続して学習に取り組めるよう定期的に保護者・子どもに状況確認(面談)を実施し、学習面にとどまらず、子どもや保護者がコロナ禍で抱えている様々な不安やストレスを吐き出せるよう携わっていく。	長崎県内
特定非営利活動法人わたしと僕の夢	福岡県	コロナ禍により学習機会が減少又は学習が困難になった子ども達へのオンラインによる学習支援事業	コロナ禍による学習機会の喪失とそのため学習意欲の低下は、子ども達の将来の可能性を毀損することとなるが、自宅にWiFi環境のない子ども達及び一人ではオンライン授業になじめない子ども達を、学校や塾に通えなくても当NPOが確保したスペースに比較的小人数で分散開催するし、マンツーマンでオンライン学習に取り組むことにより、学習意欲を取り戻し学力が向上し、あわせて外界と関わる機会を少しでも増やし、子ども達を見守り育てようとする大人や社会の存在を実感し、より前向きに生き抜いていく力がついていく。	福岡県久留米市、佐賀県鳥栖市